

NEC真空硝子は、日本山村硝子の雇用延長制度を導入せよ！

本日（25日）、NEC真空硝子の新たな親会社になる日本山村硝子の株主総会が行われ、NEC真空硝子は7月から、日本山村硝子の傘下に入ります。NEC真空硝子は新たな状況のもとで、鈴木喜美子さんの雇用延長を決断すべきです。

日本山村硝子の雇用延長制度を見習え

日本山村硝子の雇用延長制度は、「対象は希望者（評価などの制限を設けず）、60歳到達までの賃金カットはなし」となっています。

一方、NEC真空硝子の制度は、「対象は標準成績以上の者。56歳の時点で選択し、57歳からは賃金20%カット」というヒドイ内容です。

どちらが法の趣旨にそって労働者を大切にしているのかは、明白です。

NEC真空硝子は、新たな親会社になる日本山村硝子の制度を見習い、雇用延長制度を抜本的に改正すべきです。

人減らしリストラをはね返す職場を

7月から新たなスタートを迎えるNEC真空硝子の職場では、多くの方が不安を抱えています。影を落としているのは、昨年、今年と連続して行われた「構造改革」の名での人減らしリストラです。実に100名を超える人が退職を余儀なく強いられました。

新会社では、人減らしリストラを三度行わせない職場をつくっていくことが、切実な課題となっています。

新会社では、労働条件の向上を

NEC真空硝子は、NECの硝子研究所として発足し、1949年に分離・独立して、電子管用バルブなどのガラス事業を開始しました。NECグループの中でも、老舗会社のひとつでした。しかし、一時金は1ヶ月（他は2ヶ月）、1日の勤務時間は8時間（他は7時間45分）、フレックスタイム制は未導入など、賃金や労働条件はグループ間で遅れをとっています。

この原因について、5月の労働組合執行委員選挙に立候補した鈴木喜美子さんは「労働組合の役割が決定的」と、指摘しています。新会社を転機に、職場の意見や要求を労働組合に集め、労働条件の向上にも力を注いでいきましょう。

私たちも、引き続いて鈴木喜美子さんの雇用延長の実現をめざすとともに、安心して働き続けられる労働条件・権利を守るために力を尽くします。みなさんからのご意見や要望をお寄せください。

鈴木喜美子さんの雇用延長を実現させましょう

NEC真空硝子(株)本社地区で働く鈴木喜美子さんは、60才以降もNEC真空硝子で働き続けたいと雇用延長を希望していました。

しかし、会社は、労使協定に記載されている「雇用延長の適用者は標準以上の評価査定」を理由にして、鈴木さんの再三にわたる要望を拒否してきました。

鈴木さんは、「会社の雇用延長拒否は、原則は希望者全員を対象とするという高年齢者雇用安定法の趣旨に反する。納得できない」と、電機ユニオンに入り、電機ユニオンの団体交渉で雇用延長の実現をめざしています。

みなさんのご支援をよろしくお願いいたします

NEC & 関連労働者ネットワーク 2010年6月

ELICNEC

(連絡先) 田町: 山崎 栄一 042-729-8084
玉川: 森 英一 090-4834-6876
府中: 益田 武廣 080-3389-0028
ELIC NEC URL: <http://www.elicnec.com/>

大企業は儲けを 社会と労働者に還元せよ！

今年の春闘では、NECをはじめ電機大手8社は不況宣伝をふりまき、労働者の賃上げを抑えこみました。しかし、4月に発表された10年3月期連結決算では、電機大手8社は、売り上げを減らしながらも、営業損益はそろって黒字化をはたしていました。

売上高を減らしても、営業利益は急増

売上高では、NECが15%減、パナソニックが4.5%減とするなど、8社合計で7%減と大幅に落ち込んでいます。しかし、営業利益は、NECが前期と比べ571億円増、パナソニックが1176億円増と急激に回復しています。営業利益の8社合計は8329億円で、前期と比べて9641億円もの増加です。

労働者を犠牲にした固定費削減を競う

NECは2万人の人員削減を行い、前期に比べて人件費を806億円削減、下請けや業務請負などの「技術外注費・業務委託費」を1483億円削減。全体で計画を11%上回る3206億円の固定費削減を行いました。パナソニックは、4530億円の「合理化」を実施しています。

電機大手8社 2010年3月期連結決算

	売上高 億円 %	営業利益 億円
日立製作所	89,685(10.3)	2,021(750 増)
パナソニック	74,180(4.5)	1,905(1,176 増)
ソニー	72,140(6.7)	317(2,594 増)
東芝	63,816(4.1)	1,172(3,674 増)
富士通	46,795(0.3)	943(256 増)
NEC	35,831(15.0)	509(571 増)
三菱電機	33,532(8.5)	943(454 減)
シャープ	27,559(3.2)	519(1,074 増)

はマイナス。
売上高()内は、前年同期比増減率。
営業利益()内は、前年同期比増減額。

“負の悪循環”にピリオドをうち、日本経済の再生を

このように、減収でも黒字化の真相は、労働者や下請け業者を犠牲にしたコスト削減でつくられたものです。また、トヨタをはじめ自動車大手8社でも同様にコスト削減で減収増益となっています。日本の主要産業の自動車、電機の大手8社のすべてが、コスト削減で利益を生み出すという、経営の異常さが浮き彫りになっています。

このままでは、日本経済は「雇用減少 賃金低下 内需縮小 国内生産縮小 雇用減少」という“負の悪循環”におちいり、労働者の生活は壊されて日本経済も悪化の一途をたどるでしょう。

この状況を打開するためには、日本経済を外需・輸出依存の脆弱な体質から、内需拡大・生活充実型に変えていく必要があります。そのためには、大企業のもうけを社会、労働者に還元させて、身勝手な「派遣切り」を止めさせるなどの雇用と働くルールを守り、国民、労働者の懐を暖める賃金引上げが求められています。

NECグループのみなさん、協力会社のみなさん。お気軽にご相談ください

NECグループでの職場の問題、声、労働者のたたかいたい方は、

下のELICNECホームページにいますぐアクセス！

<http://www.elicnec.com/>

アクセス33万件

一人で悩まず、まずは相談を！電機ユニオンに入り、解決した事例が沢山生まれています

雇用問題・リストラなどで困ったときは

一人でも入れる **電機ユニオン** へお気軽にご相談を

Tel 03-3455-6006 Fax 03-3451-3595 メール info@denki-union.org

<http://denki-union.org/>